

GEMC journal 投稿規定と執筆要領

学術雑誌「GEMC journal」（以下、本誌といいます）は、東北大学グローバルCOEプログラム「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」（以下、本GCOEといいます）の一環として刊行されるものです（本GCOEの趣旨や活動については、ホームページ<http://www.law.tohoku.ac.jp/gcoe/>をごらんください）。本誌は、第一部「寄稿論文」と第二部「自由投稿論文」からなります。寄稿論文とは、本GCOEが主催・共催する行事における発表等から、編集委員会が本誌に掲載するに値すると判断した内容の報告者、また、編集委員会が本GCOEの趣旨に沿って企画した本誌のテーマ趣旨にふさわしい著者に、編集委員会が執筆を依頼した論文で、編集委員会が閲読して掲載を決定したものです。これに対して、自由投稿論文とは、本GCOEのテーマ趣旨と関係する論文で、一般公募により投稿され、査読を通じて一定の学術的価値を有すると認められたものを言います。以下には、自由投稿論文について、投稿の手續きと本誌の執筆要領をお知らせします。

I 投稿規定

1. どなたでも投稿できます。投稿にあたっては、投稿者の所属機関及び所属機関外から各1名以上の教授・准教授（これらに相当すると認められる研究者等を含みます）による推薦を付してください。ただし、本GCOEの事業推進担当者の推薦がある場合には、これに代えることができます。
2. 本誌に掲載される論文は、本GCOEのテーマ趣旨に沿った学術的研究に寄与する内容のもので、投稿する原稿は未発表の初出原稿で完成原稿に限られません。
3. 投稿された論文は、編集委員会が任命する査読委員会が行う厳正な査読の結果に基づいて、編集委員会が掲載を決定します。また、掲載可能性のある論文の著者には、本GCOEが主催・共催する行事における発表を依頼することがあります。
4. 査読委員会は、投稿された各論文につき相当する専門領域の研究者を選定して評価を依頼し、その結果を基に審査を行うことにより、査読結果を決定します。査読結果は、決定後速やかに編集委員会から本人に通知されます。その場合、原論文の加筆・修正等を掲載の条件とすることがあります。なお、各論文

の評価者は、査読委員会および編集委員会委員長以外には、匿名とされます。

5. 査読結果に異議があるときは、投稿者は編集委員会の定める期間内にそれを編集委員会に申し立てることができます。異議申し立てがあったときは、編集委員長は速やかに編集委員会を開催して審議し、審議の結果、再審査をすることがあります。

II 執筆要領

1. 原稿執筆における使用言語は原則として日本語または英語とします。日本語／英語以外の言語による投稿に関しては、編集委員会において検討してお認める可能性があります。
2. 論文は、Microsoft Wordもしくは一太郎等のワープロソフトデータで作成してください。原則として30000字（脚注・参考文献等を含み、図表、見出しも文字数に換算）を上限としますが、多少の増加はお認めることがあります。なお、本誌文字数は1ページあたり本文2256字（24字×47行×2段）となっており、タイトル部分として768字分が使われます。
3. 本誌は横書き2段組の体裁となるため、二桁以上の漢数字は使用せず、半角英数を使用してください。また、英文についても半角英数を使用することとします。
4. 表が入る場合は、その基となる数値の入ったMicrosoft Excel等の表計算ソフトのデータを添付、もしくはリンクをしてください。
5. 論文には、論文と同じ言語で、タイトル、執筆者名を記載してください。日本語論文には、欧文で、タイトル、執筆者名、論文の要約を、別添でお送りください。
6. 書き出しは大見出し「I. はじめに」からとし、以下、中見出し「1. ○○○○」、小見出し「(1) ○○○○」と続くものとします。
7. 註については、ワープロソフトの脚注を使用し、対象ワードの右肩付け（句読点前）で、連続したアラビア数字の文末脚注としてください。